

うちの子供は、一歳半になり、ニコニコ笑顔で走り回るようになるまで、成長しました。何かの真似事をしたり、仕事に行くとき手を振ってくれたり、抱っこしてもらいたくて、近くに来て小声で「抱っこ」と言って手を広げたりする姿は、とても可愛らしくてたまりません。

うちの嫁さんは、子育てに悩みに悩んだ日々でもあったと思います。生まれてから数か月の間、おっぱいを上手に飲むことができず、自分のせいではないかと責めては、母乳で育てることを諦めようかと悩んだり、やっと飲めるようになったと思えば、乳腺炎にもなり、すごくカチカチになって、苦勞していたのを思い出します。離乳食の時期になり、作っても作っても食べてくれず、自分が作るのがいけないのかと悩んだりもしました。夕方になるといつも泣き出すわが子を、何で泣いているのかもわからず、外に抱っこして歩いて、私が仕事から帰ってくるのをまだかまだかと待っている日々もありました。卒乳の時期にもなり、やっと上手に飲めるようになったのに、この世の終わりのように子供を泣かせてまで、卒乳しなければならないのかと泣いてもいました。私は、それを励まして、見守ることしかできませんでした。下園先生には、乳房ケアだけでなく、嫁の精神的支えにもなっていていただいて感謝しています。休みの日や夜遅くでも相談に乗って頂いたこともありました。

悩みばかりをあげていますが、それ以上にうれしいこともたくさんありました。それは、わが子の成長と笑顔です。おっぱいを上手に飲めるようになったり、寝返りをうつようになったり。はいはいができ、つかまり立ちができるようになり、にこにこ歩くようにもなりました。卒乳後は、今までほとんど食べなかった離乳食ももぐもぐと食べるようになりました。何か言葉をはったり、真似をしてみたり、自分の寝かしつけでも寝てくれるようになりました。何か新しいことができるようになる瞬間と言ったらうれしくてたまりませんでした。

私は、仕事で日中ほとんど家にいませんでしたが、子供がここまで無事に成長しているのは、嫁さんがしっかり子供を見守り育ててくれたからだと思います。喧嘩をすることもありますが、泣いて悩んでも、子育て、家事にとがんばってくれて感謝しています。二人目もそろそろ欲しいなと感じている今日この頃です。これからも、夫として父親として家族とともに成長していきたいと思います。